

ダルレの話 달래이야기

演出：チョ・ヒョンサン **Dallae Story**

演出意図

戦争の本質は、過去や他国での刺激的な映像に触れるだけでは到底理解しきれません。

ましてやコンピューターゲームやサバイバルゲーム等を、

戦争の疑似体験と位置付けて理解しようなんて不可能なことです。

戦争は、私たちが本当に守らなければならない大切なものを奪います。

「ダルレの話」は、戦争の話だけではなく家族の愛と希望の話です。

他人の話ではなく、まさに私たちの話です。

あらすじ

洗濯物が干されている農家の庭で、妻と夫が登場し、
お互い人形を持って遊ぶ。人形劇の内容は自分たちの話だ。
男女の出会いと娘の誕生、そして幸せな団らんの様子が、
人生と歳月を象徴する四季を背景に、劇中劇の形式として
表現される。しかし、戦争が起こり家族は別れるようになる。
戦争の渦に巻き込まれた家族は、悲しみと苦しみの中に
幸せだった日常を想像して…。



【招聘団体】

劇団 風の子九州

構成・演出 チョ・ヒョンサン
美術・人形 リュ・ジヨン
作曲 チョンジェフwan
出演 チョ・ヒョンサン
リュ・ジヨン
キム・ヤンヒ
チエ・ソクウォン
ファン・スンヒヨン
PD キム・ボギヨン

作品紹介

いまだに戦争を経験した世代が生存し、終戦でもない休戦の状況でいる韓国人の人たちにとって戦争は、
他人の話では有りません。戦争は、私たちが本当に守りたいものを奪います。そして戦争の犠牲となるのは、
いつも弱い立場の人たちなのです。韓国戦争を素材に劇中劇の形式を用い、人形劇で表現します。
単に、戦争の話だけではなく、家族と愛と希望のお話です。

劇団紹介 [アートステージサン Art Stage San]

韓国の議政府(ウイジョンブ)市に拠点を置く人形劇団。2001年より活動を始め、舞踊、映像などを
効果的に取り入れた舞台作品を世に送り出しています。様々な国際フェスティバルにも参加しており、
代表作の「ダルレの話(Dallae Story)」は各国で絶賛され、これまで22ヶ国、85ヶ所以上の都市で公演。
日本でも2009年以降、各地で上演されました。

2009年 スペイン ティティリザイ人形劇フェスティバル 最高作品賞

2010年 国際児童青少年演劇協会 ASSITEJ 演劇賞

2012年 中国世界ユニアミ会 Best Play、春川人形劇祭 金ココバウ賞(大賞)